

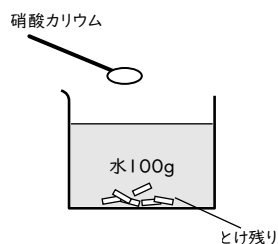
溶解度と再結晶

NO.1

学習日：

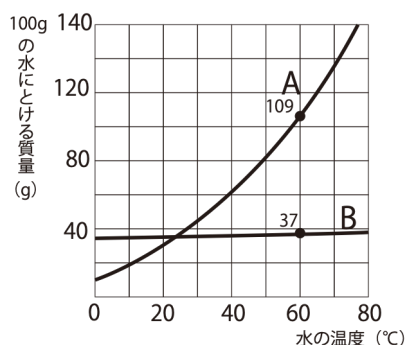
点

1 右の図のように、水100gに硝酸カリウムを少しずつ入れてかき混ぜていくと、やがてとけ残りが出た。次の問いに答えなさい。



- ① 物質がそれ以上とけることができなくなったとき、何したというか。 ()
- ② ①のときの水溶液を何というか。 ()
- ③ 100gの水にとける物質の最大の質量を何というか。 ()
- ④ ③は水の何によって変化するか。 ()
- ⑤ 水の温度ごとの③をグラフに表したものを何というか。 ()

2 右の図は、100gの水にとける硝酸カリウムと食塩の質量と、水の温度との関係を表したものである。次の問いに答えなさい。



- ① 食塩のグラフはA, Bのどちらか。 ()
- ② ①のように判断できる理由を、「温度」「溶解度」という語句を使って書くと何か。 ()
- ③ 60°Cの水100gに、硝酸カリウムは何gまでとけるか。 ()
- ④ 60°Cの水100gに食塩を20g入れたところ、すべてとけた。あと何gの食塩をとかすことができるか。 ()
- ⑤ 20°Cで溶解度が大きいのは、硝酸カリウムと食塩のどちらか。 ()

解答

1 ① 飽和 ② 飽和水溶液 ③ 溶解度 ④ 温度 ⑤ 溶解度曲線

2 ① B ② 温度が変わっても溶解度がほとんど変わらないから。

③ 109g ④ 式： $37 - 20 = 17$ 答え：17g ⑤ 食塩